



「アーティスト・イン・スクール」によせて

いまどきの小学生はどんなことを感じながら生きているのかな。考えていることよりも、今感じている、意味になる前の、言葉になる前の、その「感じ」を肌で感じてみたい。

それは私の作品が表現しようとしているものとも重なります。私は小学生の頃にあまりいい思い出がなく、いつもフラストレーションでいっぱいだった。それがいま、絵を描いたり、ものをつくったり、ワークショップをしている大きな理由のひとつのような気がする。

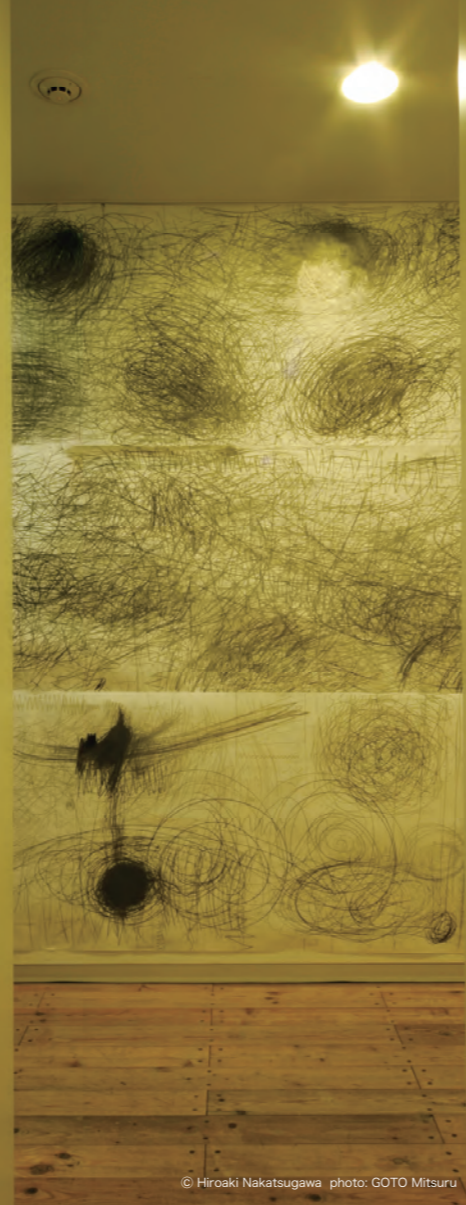
小学生だった私が受けたかった授業をしてみたい。これからのアーティストにとっても小学生や教育現場にとっても大切なことが現れてくる気がします。

中津川 浩章



中津川 浩章 (なかつがわ・ひろあき)

1958年静岡県生まれ。ブルーバイオレットの線描を主体とした大画面のアクリル画を制作。「アートは人間を開いていく方法であり、手段」という考えのもと、制作活動と運動して社会との関係を重視した活動を展開。2000年には震災後のトルコでワークショップを行う。川口では障害者施設・工房「集」のサポートを続けている。



アーティスト・イン・スクール

関連催事

一般参加ワークショップ マイワールド・ボックス

箱の中に自分の心の世界を色や形、オブジェを使い制作しました。

講師：中津川 浩章
日時・参加者数：11月8日(日)
①10:00～12:00 14名(小学1, 2年生)
②13:30～16:30 22名(小学3年生以上の親子)



関連企画 トークショー 「子供たちとアート」

パネラー：池田一、中津川浩章、川口市立西中学校と川口市立芝南小学校の先生方
日時：11月8日(日) 17:00～18:00
会場：アトリア・スタジオ



○アーティスト・イン・スクール事業について

川口市では平成15年度から、市内の学校にアーティストを派遣し、学校で作品を公開制作していました。平成18年度からは、川口市立アートギャラリー・アトリアの開館に伴い当館が担当で行い、アーティストが市内の学校に出向き児童・生徒と共に作品を制作する特別授業を一般公開しています。また、その成果をアトリアに展示し広く市民の方々にご覧いただくしております。この事業は、教育の現場にアーティストが入っていくことで開花される、子供たちの自由な発想と無限の表現力を育てることを主旨としています。

第4回 アーティスト・イン・スクール

2009 報告書

「私って何？ マイ・ワールド・ボックス」
を作ろう！

中津川 浩章 × 川口市立芝南小学校5年生

授業日程：10月26日(月)・28日(水)・29日(木)・11月4日(水) 5日(木)

アーティストの作品展示 10月22日(水)～11月23日(月・祝)
芝南小学校児童作品展示 11月6日(金)～11月23日(月・祝)
展示会場：アトリア・展示室A

アーティスト・イン・スクールは、アーティストが市内小・中学校で特別授業を行い、児童・生徒と共に作品を制作するものです。この特別授業は一般公開され、アトリアでは、それらの作品を展示し、多くのみなさまにご覧いただきました。

4回目を迎える今回は、川口市立芝南小学校に大画面のライブ・ペインティングなどでも知られる中津川浩章(なかつがわ・ひろあき)氏が、川口市立西中学校には水をテーマにした環境アートを手掛ける池田一(いけだ・いち)氏が、それぞれ出張授業を行いました。昨年より受入れ校も主催者となったことで、各学校独自に関連カリキュラムを組み入れるなど、その活動に広がりが増えています。

本事業開催にあたり、ご協力賜りました関係者のみなさまに厚くお礼申し上げます。

